

第2次黒部総合振興計画審議会

第4回第6部会【協働・行財政】

議事概要

日時：平成29年8月1日（火）14：00～

場所：黒部市役所203会議室

出席者：委員5名（欠席2名）、専門委員1名（欠席なし）

幹事1名（欠席4名）、計画主任9名（欠席1名）、事務局4名

次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
 - （1）前回審議会以降の経過について
 - （2）各委員からの意見・提言について
4. 協議事項
 - （1）基本構想（継続審議事項）について
 - （2）前期基本計画素案について
5. その他
6. 閉会

主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

部会長あいさつ

○部会長：本日の部会は基本構想の継続審議に関する事項と前期基本計画素案について審議いただく。様々な意見と通じて活発な意見をいただき、黒部市の未来を創造していきたいと考えているので、皆様のご協力をお願いしたい。

報告事項

(資料1：前回審議会以降の経過について、
資料2：各委員からの意見・提言について、事務局より説明)
委員からは特に意見なし

協議事項

(資料3：基本構想(継続審議事項)について、事務局より説明)

- A委員：P34の「市内外との…」の定住、半定住の拡大は何を指しているのか。
- 事務局：現行の計画からの引き続きであるが、近隣であれば新川広域圏や福井県大野市や姉妹都市の根室市などと連携を進めていくこと、それ以外のことで他都市との連携交流を進めていく。それに加え、新幹線の開業により、首都圏を中心に、交流を進めることで、黒部の定住に繋げていくことを想定している。
- A委員：人口減少の主な要因は結婚しない人が増えてきていることが挙げられる。婚活のことを書くのはここしかないと思われる。婚活は黒部市のプロジェクト事業として取り組むべきではないか。
- 事務局：定住については、現在黒部に住んでいる人も含まれており、子どもを産み育てることも含んでいるとご理解いただきたい。具体的には、基本計画において個別事業として挙がってくる。婚活も現在の表現に含まれていると考えてもらいたい。
- A委員：現在の表現ではそう読み取れない。もう少し表現することはできないのか。
- 事務局：現在の場所は基本構想であり、総合振興計画の一番上の部分であり、婚活はその下にぶら下がる事業であるため、この場所に記載することは難しい。
- A委員：もっと婚活を表に出せないのか。
- 事務局：施策区分については、昨年から審議会で検討してきたものであり、既に決定されたものである。これを変更することは難しい。
- B委員：施策区分に「婚活」を入れるのは好ましくない。
- C委員：決定事項だとは理解しているが、「定住・半定住」で人口減少に関する全てを表現するのは少々厳しいのではないか。例えば、○の順番を入れ替えても良いのではないか。
- 事務局：いただいた意見については、事務局で再整理したい。
- A委員：「質の高い魅力あるまちづくり」「賑わいの創出」はどこに向けて発信しているのか。
- 事務局：市民、市外の全てを含んでいるとご理解いただきたい。
- A委員：賑わいの創出は、市街地の人がとらえるのか、里山の人にとらえるのか、誰が主体となって実行するのが見えない。
- B委員：人がいないと良いイベントを開催することはできないかもしれないが、現在

の表現で特に問題ないと考える。

- 事務局：基本構想では、全体を網羅するような記載しかできない。それを受けて基本計画で詳細を定めていくことになる。例えば資料 4-2 で、P1 の事業メニューで「男女の出会い創出」「結婚相談窓口」なども記載させていただいている。

(資料 4：前期基本計画素案について、事務局より説明)

- B委員：資料 3、4-1、4-2 は階層的となっていると思うが、婚活のことは記載されているが、第 6 部会として統一されているかという目を見た場合どうなのか。
また、「関心を持ちましょう」という表現は適切である。
- A委員：P12 の施策内容において、「行政改革の推進」「事務事業の改善」と「事務改善の実施」は何が違うのか。
- 計画主任：「事務事業の改善」は行政事務全般の改善、「事務改善」は「カイゼン」として、作業の手筈を簡略化・効率化を図っている。
- A委員：「簡素で効率的な行政運営」「効率的な行政運営の推進」とあるが、重複しているように見える。
- 計画主任：「行政サービスの充実」の中の「行政運営」は様々なプロセスを含んでいる。「行政サービス」は市民サービスのことを指している。2つめの丸については、職員のことを記載しているのでタイトル文を検討したい。
- B委員：基本構想 P34 に記載されている「PDCA サイクル」については記載が不要なのではないか。基本計画 (6-6) に PDCA サイクルに関する記載がない。
また、情報・通信の整備は、今後 10 年の計画とはいえ、実現可能なのか。
- A委員：P13 の「事務事業全般にわたり…」とあるが、優先順位付けするのは事業などのことではないのか。
- 計画主任：「事務事業」は行政用語としてソフトとハードを含んだ表現方法である。
- A委員：地域支え合いや老人クラブ活動等の地域活動への支援は、どこで行っていただけののか。
- 事務局：地域支え合いについては、第 4 部会での高齢者福祉施策について取り扱っている。
- A委員：高齢者福祉ではなく、社会活動に積極的に関わっていく取り組みが必要なのではないか。
- 計画主任：合併前では、自治コミュニティの統合の進め方がかなり違っていた。旧黒部では振興会ベースであったが、旧宇奈月ではそうではなかった。現在は統一的な支援を行っている。ただ行政サービスの一環として、あまり個別のことをお願いすることはできない。今後は横の連携を図りながら進めていってもらいたい。
- C委員：事業概要と個別事業で「等」があるものとないものがある。NPO「等」がない

- ものはどう考えればよいのか。NPO 以外は支援しないということか。
- 事務局：NPO 以外の団体もあるため、「等」は記載すべきものである。
 - B 委員：P13 の「自主財源の確保」について、未利用地の売却や民間委託は自主財源に該当するものなのか。
 - 計画主任：未利用財産は財源確保につながるのかということだが、利用されなくなったものを売却することは財源確保につながる。また、民間委託については、経費の削減につながる話であり、「自主財源確保の確保」とは少し筋合いが違うかもしれない。
 - A 委員：P4 の「コミュニティ活動施設の整備推進」とは。
 - 計画主任：町内の公民館の整備が該当する。「コミュニティセンター助成事業」は、地区公民館の新設のみ該当する。地区の負担をいただきながら、行政が「支援」するものである。
 - A 委員：P1、6-1 に婚活のことを入れることはできないのか。目標指標にできないのか。
 - 計画主任：婚活を担当している生涯学習課であるが、結婚は個人の問題である。イベント等を開催させていただいているが、あくまで契機づくりであるため、追跡調査を行うこともできず、目標指標として設定はできない。
 - D 委員：資料 3 の P34 は修正はできないのか。
 - 事務局：一切変更できないという訳ではない。
 - D 委員：資料 3 と資料 4-1 の「施策の展開方針」に違いがあるが、意味合いはあるのか。
 - 事務局：資料 3（基本構想）の方がレベルが上であり、資料 4-1（基本計画）は現況と課題を踏まえた内容となっており、少々内容が異なっている。
 - D 委員：資料 4-2（実施計画）は公表しないのか。
 - 事務局：HP 等で検索すれば見ることはできるようになる。
 - D 委員：施策中分類と事業メニューに関しては記載内容が統一されているようだが、個別事業と表現が違うのはなぜか。
 - 事務局：資料 4-2 の内容は全て書ききれないため、代表的な個別事業を記載させていただいている。
 - D 委員：資料 4-2 にも「前期基本計画」と記載されているが、どのような関連性があるのか。
 - 事務局：前期基本計画に基づく内容という意味と理解していただきたい。資料 3 と資料 4-1 が議会に提示する内容である。
 - B 委員：全ての資料で整合が図られているべきである。もう一度、基本構想・基本計画・実施計画で整合が図られているかをご確認いただきたい。
 - 部会長：事務局で最終的なチェックをお願いしたい。

(次回の部会について、事務局より説明)

- 事務局：8月24日（木）の14時より、第4回審議会（全体会）を開催する予定であり、ご参加いただきたい。審議会では、資料3（基本構想・答申案）と資料4-1（基本計画・中間報告案）について、ご議論いただきたい。
- B委員：参考2については何が変わったのか。
- 事務局：レイアウトについて、現況と課題毎とするか、従来通りとするかの違いである。

閉会

- 事務局：基本構想については、2月の全体会で承認されたものを3月議会で中間報告、9月議会で最終の議決を受ける予定である。基本計画については、全体会で了承いただいたものを9月議会で中間報告、12月議会での議決を受ける予定である。
- 事務局：以上をもって、第4回部会を閉会する。

以上